

令和 2 年 度
(2020年度)

学生募集要項

(一般入試)



令和元年 1 2 月

国立大学法人

琉球大学

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入試センター試験に関すること	大学入試センター 事業第一課	03-3465-8600
インターネット出願に関すること	志願受付サポート窓口	0120-752-257
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	人文社会学部学務係	098-895-9056
	国際地域創造学部学務係	098-895-8184
	教育学部学務係	098-895-8317
	理学部学務係	098-895-8595
	医学部学務課入試・学事係	098-895-1032
	工学部学務係	098-895-8583
	農学部学務係	098-895-8738
合格発表 1. 前期日程：3月 6日（金）午後3時 2. 後期日程：3月20日（金）午後3時 （詳しくは54ページをご覧ください。）	前期日程は琉球大学文系総合研究棟前駐車場において、後期日程は各学部掲示板において合格者の受験番号を掲示します。また、琉球大学ホームページ (http://www.u-ryukyu.ac.jp/ → [入試情報]) にも掲載します。	
各募集単位の志願者数及び志願倍率 2段階選抜の実施の有無	本学ホームページ (http://www.u-ryukyu.ac.jp/ → [入試情報]) に掲載します。	
入学科、授業料の <u>納 付</u> に関すること （詳しくは55ページをご覧ください。）	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学科、授業料の <u>免 除</u> に関すること （詳しくは55ページをご覧ください。）	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
受験時の合理的配慮等に関すること （詳しくは16ページをご覧ください。）	障がい学生支援室	098-895-8750

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く）午前8時30分～午後5時15分
（障がい学生支援室 午前9時30分～午後5時15分）

※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

目 次

○ インターネット出願について	Web 1
○ 琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	A P 1
1. 入学者選抜方法	1
2. 試験日程等（一般入試）	1
3. 出願資格	1
4. 募集人員	2
○ 「4. 募集人員」の留意事項	4
5. 国公立大学を複数受験する場合の取扱い	7
6. 入学願書受付期間及び出願方法	7
(1) 出願手順	7
(2) 受付期間	7
(3) 提出方法・提出先	8
(4) 受験票について	8
(5) 出願に関する注意事項	8
7. 出願書類等	9
8. 入学検定料の払込について	1 1
9. 災害等による入学検定料の特例措置について	1 2
1 0. 出願に関する第2志望の取扱い（理学部数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系） ..	1 3
1 1. 人文社会学部のプログラムの配属等について	1 3
1 2. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について	1 4
1 3. 教育学部の専修の決定方法等について	1 4
1 4. 工学部の選抜方法等について	1 5
1 5. 2段階選抜（医学部医学科）	1 5
1 6. 調査書	1 6
1 7. 受験時における合理的配慮等について	1 6
1 8. 令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）	1 7
○ 「1 8. 令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」の読み方・留意事項	1 7
令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）	1 9
1 9. 実技検査等実施方法（教育学部）	4 5
2 0. 個別学力検査等の試験日時及び試験場	4 7

(1) 前期日程	4 7
(2) 後期日程	5 1
2 1. 受験に関する注意	5 3
2 2. 合格発表	5 4
2 3. 追加合格	5 4
2 4. 入学手続（前期日程・後期日程）	5 5
(1) 入学手続期間等	5 5
(2) 入学手続場所	5 5
(3) 提出書類	5 5
(4) 入学料・授業料について	5 5
(5) 入学手続にあたっての注意	5 5
2 5. 個人情報の利用等について	5 6
2 6. 入試情報開示に関する事項	5 7
(1) 個別学力検査等の採点・評価基準	5 7
(2) 合否判定基準	6 1
(3) 入学試験問題等の公表	6 3
(4) 合格者の成績（合格者の最高点・最低点・平均点）	6 3
(5) 試験成績開示	6 3
(6) 調査書開示	6 3
○出願書類等一覧	
出願書類等の記入上の注意	

○令和2年度琉球大学入学者選抜のインターネットでの出願について

琉球大学では、昨年度から、インターネット出願を実施しています。インターネット出願とは、専用サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い、本学へ印刷した出願書類等を郵送することをいいます。専用サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。

《一般入試（前期・後期）インターネット出願サイト》

[\(http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/\)](http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/)

登録期間 令和2年1月20日（月）～ 2月5日（水）午後5時

*登録期間以外は、登録できません。

*インターネット出願を理解していただくための体験版が以下の日程でご利用できます。

体験版からは出願できません。

体験版利用期間 令和元年12月9日（月）～ 令和2年1月6日（月）午後5時

【インターネット出願の流れとスケジュール】



【インターネット出願の注意点】

1. インターネット出願サイトでの志願者情報の登録、入学検定料の支払い、本学への出願書類等の郵送が必要です。郵送した出願書類等の受付処理後に、専用サイトで登録したメールアドレスへ**受験番号確定お知らせメール**を送信します。
2. 受験票は自身でプリントアウトし、試験当日に必ず持参してください。
受験票は**受験番号確定お知らせメール**を受信した後、プリントアウトが可能になります。

○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平成29年2月9日
制 定

1. 琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等、寛容平和」の建学の精神の下、「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として、地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ、さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- （1）豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- （2）優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- （3）外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- （4）地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

2. 求める学生像

琉球大学は、このような教育理念を理解し、本学で学ぶ強い意欲を持ち、次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- （1）高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- （2）異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- （3）自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人

3. 入学者選抜の基本方針

琉球大学は、各学部・学科等の求める学生像に沿って、多様な入試方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく、意欲と主体性をもって学ぶことができるかを、多面的・総合的に評価し、社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については、
各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/>)
をご覧ください。

令和2年度琉球大学学生募集要項（一般入試）

1. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、調査書の内容、本学が実施する個別学力検査・実技検査・小論文・面接・口頭試問その他の能力・適性等に関する検査の成績、その他本学が適当と認める資料により、総合判定して行います。

2. 試験日程等（一般入試）

事 項	前 期 日 程	後 期 日 程
インターネット出願登録可能期間	令和2年1月20日（月）～2月5日（水）午後5時 インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に願書類等を提出することが必要です。	
入学願書受付期間 （出願書類受付期間）	令和2年1月27日（月）～2月5日（水） <u>午後5時必着（消印有効ではありません）</u>	
試 験 日	2月25日（火）・26日（水）	3月12日（木）・13日（金）
合 格 発 表	3月6日（金）午後3時	3月20日（金）午後3時
入 学 手 続	3月14日（土）・15日（日）	3月26日（木）・27日（金）

○募集人員に満たない場合

追 加 合 格 発 表	令和2年3月28日（土）～31日（火）
-------------	---------------------

3. 出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和2年度大学入試センター試験で本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。

- （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和2年3月31日までに卒業見込みの者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者
- （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（詳細については、大学入試センターから発行された「令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の出願の項を参照してください）

- （4）本学において、入学資格認定書の交付を受けた者

4. 募集人員

学部	学科・課程・（入試方式）等			入学 定員	募 集 人 員								
					一般入試 分離分割方式 前期日程 後期日程		AO 入試	特 別 入 試				私 費 外国人	
								推 薦 入試Ⅰ	推 薦 入試Ⅱ	社会人	帰国 子女		
人文社会学部	国 際 法 政 学 科			80名	54名	14名			12名		若干名	若干名	
	人間社会学科	哲学・教育学プログラム		80名	41名	18名			5名		若干名	若干名	
		心 理 学 プ ロ グ ラ ム							8名				
		社 会 学 プ ロ グ ラ ム							8名				
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科			40名	25名	9名			6名		若干名	若干名	
計			200名	120名	41名			39名					
国際地域創造学部	昼間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265名	60名	15名		50名			若干名	若干名	
			(論理的思考系)		90名	20名							
			(数学的思考系)		30名								
	夜間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80名	20名	5名	13名	10名					
			(論理的思考系)		24名	8名							
	計			345名	224名	48名		63名		10名			
教育学部	小学校教育コース	教科教育専攻	学 校 教 育 専 攻	140名	30名	8名			12名				
			国 語 教 育 専 修		20名	5名			2名				
			社 会 科 教 育 専 修						2名				
			数 学 教 育 専 修						2名				
			理 科 教 育 専 修						2名				
			音 楽 教 育 専 修						2名				
			美 術 教 育 専 修						2名				
			保 健 体 育 専 修						2名				
			技 術 教 育 専 修						2名				
			生 活 科 学 教 育 専 修						2名				
			英 語 教 育 専 修						2名				
			中学校教育コース				教科教育専攻	国 語 教 育 専 修	4名				
	社 会 科 教 育 専 修	3名											
	数 学 教 育 専 修	5名											
	理 科 教 育 専 修	5名											
	音 楽 教 育 専 修	3名											
	美 術 教 育 専 修	3名									若干名		
	保 健 体 育 専 修	3名											
	技 術 教 育 専 修	2名						1名				若干名	
	生 活 科 学 教 育 専 修	3名											
	英 語 教 育 専 修	2名						1名					
	教特別 育別 コース 支援	教特別 育専 攻支 援	特 別 支 援 教 育 専 修		8名				2名				
	計				140名	91名	13名		2名	34名			

学部	学 科 ・ 課 程 等		入学 定員	募 集 人 員							
				一般入試		ＡＯ 入試	特 別 入 試				私 費 外国人
							分離分割方式	推 薦 入試Ⅰ	推 薦 入試Ⅱ	社会人	
				前期日程	後期日程						
理学部	数 理 科 学 科		40名	30名	10名						若干名
	物 質 地 球 科 学 科	物 理 系	65名	28名	7名			5名		若干名	若干名
		地 学 系		19名	4名			2名		若干名	若干名
	海 洋 自 然 科 学 科	化 学 系	95名	32名	10名			5名		若干名	若干名
		生 物 系		37名	10名			1名		若干名	若干名
計			200名	146名	41名			13名			
医学部	医 学 科		112名	70名	25名			17名			
	保 健 学 科		60名	41名	10名			9名		若干名	若干名
	計		172名	111名	35名			26名			
工学部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	350名	206名	40名	6名		11名	若干名		若干名
		10名				7名	若干名		若干名		
		2名				9名	若干名		若干名		
		4名				7名	若干名		若干名		
		5名				10名	若干名		若干名		
		2名				10名	若干名		若干名		
		7名				14名	若干名		若干名		
	計		350名	206名	40名	36名		68名			
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科		35名	22名	5名		7名	2名		若干名	若干名
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科		35名	21名	7名		7名			若干名	若干名
	地 域 農 業 工 学 科		25名	17名	3名		5名			若干名	若干名
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	健康栄養科学コース	45名	22名	6名		6名			若干名	若干名
				8名			2名				
計			140名	90名	21名		29名				
合 計			1,547名	988名	239名	36名	94名	180名	10名		

○国際地域創造学部的一般入試は入試方式（・・・的思考系）毎に募集人員を設定しています。詳細については、4ページの「4. 募集人員」の留意事項（2）国際地域創造学部関係⑤、⑥を参照してください。

○農学部の推薦入試Ⅰ（英語重視）は、学部一括で2名を募集します。

○帰国子女特別入試及び私費外国人留学生入試の募集人員の取扱いについては、4～6ページの「4. 募集人員」の留意事項を参照してください。

○「昼間主コース」は、主に昼間に授業を行い、「夜間主コース」は、主に夜間に授業を行います。
「夜間主コース」の授業時間は、18時から21時55分までです。

○「4. 募集人員」の留意事項

(1) 人文社会学部関係

- ① 人文社会学部では、各学科単位で募集を行い、1年次の間は合格した学科に配属されます。
1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から各プログラムに配属されます。
- ② 人間社会学科の特別入試（推薦入試Ⅱ）では、プログラム単位で募集しますが、入学後は他の入試区分で入学した学生と同様に上記のプログラム配属の流れとなります。
- ③ 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑤ 人間社会学科の推薦入試は、各プログラムで募集し、一般入試は、学科一括で募集します。ただし、どの入試区分で合格しても入学後は、1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は13ページ「11. 人文社会学部のプログラムの配属等について」参照）

(2) 国際地域創造学部関係

- ① 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程（それぞれ対応する昼間主コース・夜間主コース）の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ② 社会人特別入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を後期日程（夜間主コース）の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ③ 前期日程（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員（若干名）を含みます。
- ④ 前期日程（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。
- ⑤ 国際地域創造学科（昼間主コース）は、学科一括で募集します。また、一般入試は、学科一括で募集を行います。入試方式毎に募集人員を設けています（前期日程は、国際的思考系、論理的思考系、数学的思考系の3方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式）。どの入試区分、入試方式で合格し入学しても、入学後は2年次前学期を修了した時点で、本人の希望と3箇学期（2年次前学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は14ページ「12. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照）
- ⑥ 国際地域創造学科（夜間主コース）は、学科一括で募集します。また、一般入試は、学科一括で募集を行います。入試方式毎に募集人員を設けています（前期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式）。どの入試区分、入試方式で合格し入学しても、入学後は1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と2箇学期（1年次後学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は14ページ「12. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照）

(3) 教育学部関係

- ① 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻及び特別支援教育コース特別支援教育専攻の一般入試については前期日程のみの選抜です。
- ② 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ③ 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般入試は、学校教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定

します。（専修配属・所属についての詳細は14ページ「13. 教育学部の専修の決定方法等について」参照）

- ④ 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の特別入試（推薦入試Ⅱ）の選抜は、専攻で行います。合格者は学校教育専攻に所属します。
- ⑤ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般入試は、教科教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。（専修配属・所属についての詳細は14ページ「13. 教育学部の専修の決定方法等について」参照）
- ⑥ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の特別入試（推薦入試Ⅱ）の選抜は、専修毎に行います。合格者は志望専修に所属します。
- ⑦ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻の選抜は、各専修単位で募集を行い、1年次から合格した専修に所属します。
- ⑧ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻（美術教育専修）の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑨ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻（技術教育専修）の前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。

（4）理学部関係

- ① 物質地球科学科は、物理系（40名）と地学系（25名）に分け、海洋自然科学科は、化学系（47名）と生物系（48名）に分けて、それぞれ募集します。また、2年次に進級する際に他の系へ進路変更の希望があれば、各系（物理系、地学系、化学系、生物系）とも3名以内に限り、選考の上、受入れが可能です（特別入試入学者は除く）。
- ② 推薦入試Ⅱには物質地球科学科の物理系と地学系、海洋自然科学科の化学系と生物系があり、募集人員は物理系が5名、地学系が2名、化学系が5名、生物系が1名です。
- ③ 推薦入試Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 物質地球科学科（物理系）、海洋自然科学科（化学系・生物系）の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑤ 物質地球科学科（地学系）の後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑥ 各学科の後期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。

（5）医学部関係

- ① 医学科では、推薦入試Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 保健学科の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ③ 保健学科の推薦入試Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 保健学科では、入学後、看護学コース、検査技術学コースの2つのコースに分かれます。なお、看護学コースの学生は、2年次以降に、保健師（15名程度）、または助産師（6名程度）もしくは養護教諭（10名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか1つ選択することができます。選抜にあたっては、入学後の成績等を考慮します。

(6) 工学部関係

- ① AO入試（アドミッション・オフィス入試）及び推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 後期日程の募集人員には、社会人特別入試及び私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ③ 一般入試は工学科一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合得点の上位から順に、工学科として合格者を決定し、その上で、志望に沿って合格者を各コースに配属します。（詳細は15ページ「14. 工学部の選抜方法等について」参照）
- ④ 特別入試（AO入試、推薦入試Ⅱ、社会人特別入試、私費外国人留学生入試）はコース毎に行います。合格者は志望コースに配属されます。

(7) 農学部関係

- ① 亜熱帯地域農学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から4名、その他の学科から3名、合計7名）を実施します。
- ② 亜熱帯農林環境科学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から4名、その他の学科から3名、合計7名）を実施します。
- ③ 地域農業工学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から2名、その他の学科から3名、合計5名）を実施します。
- ④ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から3名、その他の学科から3名、合計6名）を実施します。
- ⑤ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）では推薦入試Ⅰ（2名）を実施します。
- ⑥ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）は、卒業までの教育課程に沿って、1年次からコース教育が実施されるため、他コースからの転コースはできません。
- ⑦ 学部一括募集による推薦入試Ⅰ（英語重視）（募集人員：2名）（健康栄養科学コースを除く）を実施します。
- ⑧ 推薦入試Ⅰの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑨ 各学科の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑩ 各学科の後期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。

5. 国公立大学を複数受験する場合の取扱い

(1) 他大学との併願及び本学内での併願

志願者は、分離・分割方式の「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

なお、本学では同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。

(2) 推薦入試について

① 推薦入試に出願した者で、不合格になった場合に備えて、一般入試の受験を希望する者は、一般入試の出願期間内に改めて別途出願しなければなりません。

② 本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ）の推薦入試合格者は、当該大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

(3) AO入試について

① AO入試に出願した者で、不合格になった場合に備えて、一般入試の受験を希望する者は、一般入試の出願期間内に改めて別途出願しなければなりません。

② 本学又は他の国公立大学・学部のAO入試合格者は、当該大学・学部の定める手続により入学辞退届を提出した場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。

(4) 前期日程に合格した場合

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、他に出願済みの国公立大学・学部の後期日程を受験しても合格者とはなりません。

6. 入学願書受付期間及び出願方法

(1) 出願手順

① 出願登録のためのEメールアドレスの準備

Eメールアドレスは、スマートフォン・携帯電話のEメールアドレスやフリーメールも利用可能ですが、本学からのメール (nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp) を確実に受信できるよう設定を確認してください。登録されたEメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。

② インターネット出願サイトへの登録

大学ホームページにアクセスして、入試課ホームページのインターネット出願サイトより志願者情報の登録を行います。

※自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は、自宅以外（学校等）のパソコン等（インターネット環境）を利用していただいてもかまいません。

③ 入学検定料の払込（11ページ「8. 入学検定料の払込について」参照）

④ 出願書類等の提出（出願書類については9～10ページ「7. 出願書類等」参照）

(2) 受付期間

インターネット出願登録 及び 入学検定料払込開始日	令和2年1月20日（月） インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に書類等を提出する必要があります。
インターネット出願 登録可能期間	令和2年1月20日（月）～ 2月5日（水）午後5時 インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に書類等を提出する必要があります。
入学願書受付期間 （書類提出期間）	令和2年1月27日（月）～ 2月5日（水） <u>午後5時必着（消印有効ではありません）</u>

※ 出願書類を郵送する際は、郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕をもって発送してください。消印有効ではありません。

(3) 提出方法・提出先

「7. 出願書類等」は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の封筒（角形2号）に入れ、「**書留郵便**」で郵送してください。入学願書受付期間終了後に到着した場合には受理しませんので、ご注意ください。

※1 入学願書の受付は、原則として郵送に限りです。ただし、高等学校等が生徒の入学願書を取りまとめて提出する場合及び(2)の入学願書受付期間内に到着しないおそれがある場合は、持参による提出を認めます。

※2 持参の場合の受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学 全保連ステーション（大学会館）1階 学生部入試課

電話 098-895-8141, 8142

(4) 受験票について

出願書類を受付後、令和2年2月12日（水）までにインターネット出願サイトで登録したEメールアドレスへ「受験番号確定お知らせメール」を送信します。ただし、医学部医学科において2段階選抜を行う場合、第1段階選抜不合格者にはインターネット出願サイトで登録した志願者住所へ不合格通知書を発送します。（15ページ「15. 2段階選抜（医学部医学科）」参照）

受験票は、受験番号確定お知らせメールを受信した後に、インターネット出願サイトよりダウンロードしてください。ダウンロードした受験票は印刷し、試験当日に必ず持参してください。

※1 登録したEメールアドレスは、大学からのメール(nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。

※2 令和2年2月14日（金）までに「受験番号確定お知らせメール」が登録したEメールアドレスに届かなかった場合は、インターネット出願登録をした際の整理番号を確認の上、学生部入試課（電話098-895-8141, 8142）へ連絡してください。

※3 試験当日は、本学の受験票及び大学入試センター試験受験票の2つを必ず持参してください。

(5) 出願に関する注意事項

- ① 各学部・学科等が定める大学入試センター試験の教科・科目を受験していなければ、本学への出願資格がありませんので注意してください。
- ② 教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻は、入学時に各専修に仮配属します。インターネット出願登録時の志望学部・学科等を選択する際に志望する専修を第3志望まで選択してください。（14ページ「13. 教育学部の専修の決定方法等について」参照）
- ③ 工学部工学科は、合格者を各コースに配属します。出願を希望する者は、インターネット出願登録時の志望学部・学科等を選択する際に志望するコースを第7志望まで選択してください。（詳細は15ページ「14. 工学部の選抜方法等について」参照）
- ④ 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合は受け付けません。
- ⑤ 出願書類受付後は、いかなる事情があっても書類の返却及び差替え並びに入力事項の変更は認めません。（ただし、住所・連絡先の変更は可能です）
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載及び不正の事実が認められた場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

7. 出願書類等

(1) 高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事 項
1. 調 査 書	1. 高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の高等部を卒業した者又は令和2年3月31日までに卒業見込みの者は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成したもので、出身校において厳封したもの。なお、経年により調査書が得られない場合には、成績を証明できる書類をもって調査書に代えることができます。また、高等学校卒業後の年数が長く調査書及び成績を証明できる書類を提出できない場合には、高等学校等から「卒業証明書」と「経年で成績証明書を出せない旨の証明書」を発行して貰い提出してください。 2. 高等専門学校第3学年修了者又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和2年3月31日までに卒業見込みの者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものををもって調査書に代えることができます。 3. 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む）は、当該試験等の合格成績証明書をもって調査書に代えます。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除される場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。 4. 「琉球大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、調査書を提出してください。ただし、調査書が提出できない場合には、事前に学生部入試課へ相談してください。 5. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、成績証明書をもって調査書に代えることができます。 6. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格取得者については、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。 7. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者については、バカロレア資格試験成績証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。 8. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者については、成績評価証明書に記載されている成績をもって調査書に代えることができます。 ※なお、被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書又は卒業見込み証明書及び成績証明書を提出してください。
2. 住民票の写し (外国籍の者のみ)	外国籍を有する者は、市町村長発行のマイナンバーの記載のない住民票の写し（記載事項の省略が無いもの。）を提出してください。

(2) インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事 項
3. 出願確認票	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。
4. 宛名ラベル	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※1 印字されている内容に誤りがないか、確認してください。また、提出書類等について確認の上、チェックしてください。 ※2 封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mmでA4サイズ of 書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。 ※3 宛名ラベルの住所に合格通知書を送付します。宛名ラベルとは異なる住所に合格通知書の送付を希望する場合は、「受験番号確定お知らせメール」受信後に受験番号を確認の上、学生部入試課（電話098-895-8141, 8142）へ連絡してください。

(3) 本学様式指定の書類

様式は令和2年度一般入試【様式集】

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-form/>) からダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

出願書類等	事 項
5. 選択実技検査申請書	志願者本人の直筆により作成してください。（教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修のみ）
6. 競技歴調査書	出身高等学校等の長が作成し、提出してください。（教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修のみ）
7. 志願理由書	志願者本人の直筆により作成してください。 （医学部（医学科、保健学科）のみ） ※「学歴」欄、「職歴」欄及び「賞罰等」欄も記入してください。

※出願書類の印刷について

出願書類の印刷はモノクロ、カラーどちらでもかまいません。また、印刷用紙は普通紙でかまいません。
なお、**出願書類が2ページ以上ある場合は、両面印刷で印刷してください。**

8. 入学検定料の払込について

(1) 検定料 昼間主コース 17,000円 夜間主コース 10,000円

○入学検定料の他に、別途必要な支払い手数料(640円)は志願者負担となります。

○東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震又は令和元年台風15号、19号により被災された方については、入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については、12ページ「9. 災害等による入学検定料の特例措置について」を参照。

(2) 入学検定料払込期間

令和2年1月20日(月)から2月5日(水)午後5時まで

(3) 払込方法(インターネット出願サイトで選択できます)

コンビニエンスストア、Pay-easyでの支払い(銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング)、クレジットカード(VISA, Master Card, JCB, AMERICAN EXPRESS, DINERS Club)のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

○銀行窓口での支払いはできません。

○コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。

○コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

(4) 検定料の返還について

払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 検定料を支払ったものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了、又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)

イ. 誤って検定料を二重に支払った場合

ウ. 特例措置対象者(12ページ参照)が検定料を支払った場合

エ. 医学部医学科において、第1段階選抜試験を実施した場合、その不合格者に対しては「13,000円」を返還します。

オ. 入学願書受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は、「13,000円」(夜間主の場合は7,800円)を返還します。

※ いずれの場合でも、支払い手数料(640円)は返還しません。

上記(ア・イ・エ・オ)に該当する場合

令和2年度一般入試【様式集】(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-form/>)より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロードし、A4サイズで印刷の上必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印の上、下記へ送付してください。

送付期限：令和2年3月31日(火)

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係

電話：098-895-8058

上記(ウ)に該当する場合

令和2年度一般入試【様式集】(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-form/>)より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロードし、A4サイズで印刷の上必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印の上、下記へ送付してください。

送付期限：令和2年3月31日(火)

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学学生部入試課

電話：098-895-8141, 8142

※1 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

※2 返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。

ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。(返還には請求書受理後2～3か月程度かかります。)

9. 災害等による入学検定料の特例措置について

本学では、令和2年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震については昨年度に引き続き、令和元年台風15号、19号については今年度から特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除（昼間主コース 17,000円、夜間主コース 10,000円）

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必要書類
① 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震又は令和元年台風15号、19号における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法（本学所定の各様式については、令和2年度一般入試【様式集】

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-form/>) より所定の様式「検定料免除申請書」をダウンロードし、A4サイズで印刷の上必要事項を記入し、被災状況の理由を選択、氏名欄へ押印の上、下記へ送付してください。

- ① インターネット出願システムでの出願登録前に、学生部入試課（電話098-895-8141）へ申請方法や事前に必要となる内容等についてお問い合わせください。
- ② 学生部入試課の指示に従い、必要資料をFAX（FAX番号098-895-8129）で送付してください。
- ③ 本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて学生部入試課へ申請してください。申請後、検定料を返還します。

（払戻の理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択してください）

※返還金払戻請求書の送付期限は、令和2年3月31日（火）までとします。

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学学生部入試課
電話 098-895-8141, 8142

10. 出願に関する理学部第2志望の取扱い（数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）

（1）物質地球科学科物理系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科物理系を第2志望として出願することができます。

- ① 数理科学科及び物質地球科学科地学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で，物質地球科学科物理系（以下「物理系」）が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験し，物理系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は，物理系への第2志望を認めます。ただし，試験当日，物理系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は，第2志望を取り消したものとみなします。（17ページ「令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」参照）
- ② 物理系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は，第2志望である物理系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 物理系の合否判定においては，物理系の志願者（物理系のみを志望している者）及び物理系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし，総合得点（物理系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者としします。ただし，物理系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において，物理系を第2志望とする者が合格者となった場合は，その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

（2）物質地球科学科地学系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科地学系を第2志望として出願することができます。

- ① 数理科学科，物質地球科学科物理系及び海洋自然科学科化学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で，物質地球科学科地学系（以下「地学系」）が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験し，地学系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は，地学系への第2志望を認めます。ただし，試験当日，地学系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は，第2志望を取り消したものとみなします。
（17ページ「令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」参照）
- ② 地学系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は，第2志望である地学系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 地学系の合否判定においては，地学系の志願者（地学系のみを志望している者）及び地学系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし，総合得点（地学系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者としします。ただし，地学系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において，地学系を第2志望とする者が合格者となった場合は，その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

11. 人文社会学部のプログラムの配属等について

人文社会学部の一般入試は，各学科単位で募集を行い，1年次は合格した学科に所属します。どの入試区分で合格しても入学後は，1年次後学期を終了した時点で，本人の希望と1年次の成績等に基づき各プログラムに配属を決定します。

全ての学生は，2年次前学期から各プログラムに配属されます。

国 際 法 政 学 科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人 間 社 会 学 科	哲学・教育学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

上記に示すプログラムに記した人数は，受入人数の目安であり，各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また，学生本人の成績やプログラムの受入人数等により，全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

12. 国際地域創造学部プログラムの配属等について

国際地域創造学部の一般入試は、昼間主コースと夜間主コースに分かれたうえで、学科一括で募集します。また、一般入試は入試方式毎に募集人員を設けますが、どの入試方式で合格し、入学してもプログラムの配属には影響しません。

【昼間主コース】

学科単位で募集を行い、2年次前学期までは学科に配属します。

2年次前学期を終了した時点で、本人の希望と3箇学期（2年次前学期まで）の成績等に基づき下記の5つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次後学期から各プログラムに配属されます）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスをを行います。

国際地域創造学科 (昼間主コース)	観光地域デザインプログラム	60名
	経営プログラム	60名
	経済学プログラム	65名
	国際言語文化プログラム	48名
	地域文化科学プログラム	32名

【夜間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と2箇学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき次の3つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスをを行います。

国際地域創造学科 (夜間主コース)	経営プログラム	20名
	経済学プログラム	30名
	国際言語文化プログラム	30名

各プログラム（昼間主・夜間主）に記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

13. 教育学部の専修の決定方法等について

学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般入試は、学校教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。合格者は学校教育専攻に所属します。2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、専修配属を行います。

学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般入試は、教科教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。出願時に教科教育専攻10専修に対する志望順位を第3志望まで記入してもらい、その志望に沿って合格者を各専修に仮配属します。得点上位者から順に第1志望の専修に配属し、第3志望まで、専修の受入人員以内になるよう配属します。

各専修の最大の受入人員の目安は、前期日程試験7名程度、後期日程試験2名程度です。志望順位を第3志望まで選択していない場合は、志望していない専修に配属されることもあります。仮配属専修名は、合格通知書に同封して通知します。

2年次前学期開始前に、本人の希望と1年次の成績に基づき、最終的な専修配属を行います。専修変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生の専修変更はありません。なお、希望する専修への変更を確約するものではありません。

14. 工学部の選抜方法等について

工学部の一般入試は、工学科全体で入学者選抜試験を実施します。出願を希望する者は、出願時に工学科7コースに対する志望順位を記入してください。

工学科全体で、大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点に関して上位から順に合格者を決定します。

その上で、次の方法により志望に沿って合格者を各コースに配属します。総合点の上位者から、各コースの受入人員の目安を考慮して、その志望順位の上位から順に配属します。志望順位を第7志望まで記入していない場合には、志望順位を記入していないコースに配属されることがあります。

配属コース名は合格通知書に同封して通知します。

各コースの受入人員の目安は次のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	32名程度	6名程度
○エネルギー環境工学コース	32名程度	6名程度
○電気システム工学コース	28名程度	6名程度
○電子情報通信コース	28名程度	6名程度
○社会基盤デザインコース	25名程度	5名程度
○建築学コース	28名程度	5名程度
○知能情報コース	33名程度	6名程度

コース配属の変更は、1年次のキャリア教育等を踏まえて、2年次前学期開始前に本人の希望と学力成果に応じて行います。コース配属の変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生のコース配属の変更はありません。

なお、コース配属の変更を希望しても、必ずしも希望するコースに変更できるわけではありません。

15. 2段階選抜（医学部医学科）

(1) 医学部医学科（前期・後期日程）において、入学志願者数が前期日程は募集人員の約5倍・後期日程は募集人員の約10倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績による第1段階選抜を行い、その合格者について個別学力検査等による第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>）→[入試情報]）でお知らせします。

(2) 上記(1)により第1段階選抜を実施した場合、第1段階合格者にはインターネット出願サイトで登録したEメールアドレスへ「受験番号確定お知らせメール」を、不合格者にはインターネット出願サイトで登録した志願者住所へ不合格通知書及び返還金払戻請求書を令和2年2月12日（水）までに本学から発送します。（2月14日（金）までにどちらも届かない場合は、学生部入試課（電話098-895-8141）に連絡してください）

なお、第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員にインターネット出願サイトで登録したEメールアドレスへ「受験番号確定お知らせメール」を送付します。

(3) 第1段階選抜の不合格者には、検定料「17,000円」のうち「13,000円」を本学の定める方法により返還しますので、該当する者は令和2年3月31日（火）までに、所定の手続きを行ってください。（11ページ「8. 入学検定料の払込について（4）検定料の返還について」参照）

16. 調 査 書

(1) 文部科学省所定の様式に従い出身高等学校等の長が作成した調査書により、入学志願者の高等学校在学中の学習成績、特別活動等について審査します。

(2) 高等学校等の長が調査書を作成する際には、次の事項を記入してください。

- ① 学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に①と標示し、「備考」欄にその理由を明示してください。
- ② 「総合的な学習の時間の内容・評価」の欄については、「総合的な学習の時間」を履修していない場合には当該欄に斜線を引いてください。
- ③ 教育学部の入学志願者のうち、当該志望課程（専攻・専修）に対する能力・適性等について特に出身高等学校等の長が推薦できる者については、「備考」欄にその旨を記入してください。

17. 受験時における合理的配慮等について

本学の選抜試験志願者で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第2条第1号に定める障害者[身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。]で、受験時に合理的配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

なお、合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。

○申請方法

本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を令和2年1月24日（金）午後5時までに障がい学生支援室へ提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

また、上記以外で疾病・負傷等により、受験時に特別な配慮を必要とする者も、令和2年1月24日（金）午後5時までに本学障がい学生支援室に電話、FAX又はメールでご相談ください。

○受験時における合理的配慮申請書はホームページよりダウンロードしたものを使用してください。

【受験時における合理的配慮申請書】<http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/support/download/>

連絡先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 全保連ステーション（大学会館）2階
国立大学法人琉球大学 障がい学生支援室

電話 098-895-8750

FAX 098-895-8791

ホームページ <http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>

Eメールアドレス g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

18. 令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

○「18. 令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」の読み方・留意事項 【大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のとおり略記しています。

教科	科目
国語→国	国語→国, 国語総合→国総, 国語表現→国表, 古文→古, 漢文→漢
地理歴史→地歴	世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B
公民→公	現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経
数学→数	数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ, 数学A→数A, 数学B→数B, 簿記・会計→簿・会, 情報関係基礎→情報
理科→理	物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基
外国語→外	英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓 コミュニケーション英語Ⅰ→コミュ英Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ→コミュ英Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ→コミュ英Ⅲ, 英語表現Ⅰ→英表Ⅰ, 英語表現Ⅱ→英表Ⅱ

【「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄について】

1. 各学部・学科等共通

- 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施しますが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- 「地理歴史」・「公民」及び「理科」（基礎を付していない科目）の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 本学が指定している教科、科目以外を「第1解答科目」としている場合は、その科目を利用できなくなり、出願できません。
- 「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。また、「基礎を付していない科目」とは「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。
同一名称を付した科目、すなわち物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学を選択することは認めません。

2. 教科・科目の選択例（〔前期日程〕理学部物質地球科学科物理系）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分・検査日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科
			教科	科目名等	
理学部	物質地球科学科 65人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数学 物理系 外国語	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1〔注1〕〔計2科目〕 ※下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1〔計3科目〕 ※ただし, 「同一名称を付した科目」の選択は認めない。〔注2〕 ②物理 化基, 生基, 地基から2〔計3科目〕 又は 化学, 生物, 地学から1〔計2科目〕 英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	教科:国語 国語(必須)を1科目選択。 【計1科目】
	から1			教科:地歴と公民 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経の中から1科目選択。 【計1科目】	
				教科:数学 数Ⅰ・数A(必須)を1科目選択。 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1科目選択。 【計2科目】	
				教科:外国語 英, 独, 仏, 中, 韓から1科目選択。 【計1科目】	
				教科:理科	《①の場合》 物基(必須)を1科目選択。 化基, 生基, 地基から1科目選択。 化学, 生物, 地学から1科目選択。 【計3科目】 《②の場合》 物理(必須)を1科目選択。 (化基, 生基, 地基から2科目選択。)又は (化学, 生物, 地学から1科目選択。) 【計3科目又は計2科目】

3. 大学入試センター試験の利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から1科目を選択。	「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「数学」から1科目を選択。	「数学」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の1科目を採用します。
「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を選択。	「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「理科」の「基礎を付した科目」から2科目または「基礎を付していない科目」から1科目を選択。	①「理科」の「基礎を付した科目」から2科目並びに「基礎を付していない科目」から1科目の計3科目を受験した場合は、「基礎を付した科目（2科目の合計点）」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ②「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「地理歴史」・「公民」及び「数学」から2科目を選択。 *人文社会学部 国際法政学科 後期日程 *国際地域創造学部（夜間主コース） 国際地域創造学科 後期日程	「地理歴史」・「公民」及び「数学」から3科目以上受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の「第1解答科目」を採用後、「地理歴史」・「公民」の「第2解答科目」の得点もしくは「数学」の得点のうち、高得点の1科目の得点を採用します。

【「個別学力検査等」欄について】

1. 数学（甲）の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。

数学（乙）の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。

※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は、数学（甲）の出題範囲と同一とします。

2. 物理基礎・物理の出題範囲については、物理基礎と物理をあわせた範囲から出題します。

3. 化学基礎・化学の出題範囲については、化学基礎と化学をあわせた範囲から出題します。

4. 生物基礎・生物の出題範囲については、生物基礎と生物をあわせた範囲から出題します。

5. 地学基礎・地学の出題範囲については、地学基礎と地学をあわせた範囲から出題します。

【「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄について】

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

2. 大学入試センター試験の英語の筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、各学部・学科等の外国語の配点に換算します。また、リスニングを受験しなかった場合の取扱いについては、リスニングは、0点扱いとし、筆記試験の得点のみを利用します。

リスニングを免除された者の取扱いについては、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

【前年度以前の大学入試センター試験の成績利用について】

本学では、令和2年度入学者選抜において、前年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しません。

18. 令和２年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
人文社会 学部 〔4.0〕 200人 前期120 後期41 その他39	国際法政 学科 80人	前期 54人 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 （6教科6科目又は6教科7科目）	外	英（コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ） ※リスニング は除く	
		後期 14人 3月12日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） ※地理歴史、公民、数学から2科目選択する。 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 （4教科4科目）	その他	小論文	
	人間社会 学科 80人	前期 41人 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理Bから2①※ 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1②※ ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目若しくは5教科7科目） 又は （6教科6科目若しくは6教科7科目）	その他	小論文	
		後期 18人 3月12日	外		その他	面接	
	琉球アジ ア文化学 科 40人	前期 25人 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 （6教科6科目又は6教科7科目）	その他	小論文 面接	
		後期 9人 3月12日	外		その他	口頭試問	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等						200							200	
計	200	100	100	100	100	400							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点				200							600	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200				200					200		800	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等											200		200	
計	200	200		100	100	200					200		1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等									200				200	
計	200	200		100	100	200			200				1000	
センター試験	200	100	100	50	50	200							700	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等									200		250	50	500	
計	200	100	100	50	50	200			200		250	50	1200	
センター試験	100	50	50	50	50	100							400	
個別学力検査等										200			200	
計	100	50	50	50	50	100				200			600	
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。														

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕		学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
国際地域 創造学部 〔3.8〕 345人 前期224 後期 48 その他73	国際地域 創造学科 (昼間主) 265人 前期180 後期 35 その他50	(国際的思考系) 前期 60人 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1 } ②※ 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目若しくは6教科7科目) 又は (5教科6科目若しくは5教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く	
		(論理的思考系) 前期 90人 2月25日			その他	小論文	
		(数学的思考系) 前期 30人 2月25日			数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B)	
		(国際的思考系) 後期 15人 3月12日			その他	小論文(英語 資料読解)	
		(論理的思考系) 後期 20人 3月12日			その他	小論文	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等						200							200	
計	200	200		100	100	400							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200		100	100	200					200		1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等				200									200	
計	200	200		300	100	200							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	200		100	100	200					300		1100	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	200		100	100	200					300		1100	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和２年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等の 区 分・日 程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科 目 名 等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
国際地域 創造学部 345人 前期224 後期48 その他73	国際地域 創造学科 (夜間主) 80人 前期44 後期13 その他23	(国際的思考系) 前期 20人 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く	
		(論理的思考系) 前期 24人 2月25日			その他	小論文	
		(国際的思考系) 後期 5人 3月12日	国 地歴 公民 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) ※地理歴史, 公民, 数学から2科目選択する。 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文(英語 資料読解)	
		(論理的思考系) 後期 8人 3月12日			その他	小論文	
(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は, 高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の ○ 配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。							

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 社 会 人 追加合格
個別学力検査等						300							300	
計	200	100	100	100	100	500							1100	
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	100	100	100	100	200					300		1100	
センター試験	200	*200 *1科目100点				200							600	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200				200					200		800	
センター試験	200	*200 *1科目100点				200							600	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200				200					200		800	
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。														

令和2年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕		区分 学力検査等 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
教育学部 〔3.3〕 140人 前期 91 後期 13 その他36	小学校教育コース 学校教育専攻 50人 前期 30 後期 8 その他12	前期 2月25日 26日	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	小論文 面接	
		後期 3月12日 13日	外		その他	実技検査 (面接を含む) *実技検査等 実施方法に ついては 46ページ 参照	
	学校教育教員養成課程	前期 2月25日 26日	国 地歴 公民 数理	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	国 数 その他	(国総・国表) (数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) 面接	
		後期 3月12日	外		その他	小論文 面接	
中学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修 4人 前期 4	前期 2月25日	前期 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理B } から2 現社、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目、5教科7科目、6教科6科目又は6教科7科目) ◎現社と倫・政経を2科目選択することはできない。	国 その他	(国総・国表) 面接	
		前期 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1（注） 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他	小論文 面接	

（注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	筆記試験 音楽選択	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	＊150		200	150	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等									150		200	50	400	
計	200	＊150		200	150	200			150		200	50	1300	
センター試験	200	＊150		200	150	200							900	
個別学力検査等							実技検査 600		実技検査 に含む				600	
計	200	＊150		200	150	200	実技検査 600						1500	
センター試験	200	＊200		200	200	200							1000	推 薦 追加合格
個別学力検査等	200			200					100			50	550	
計	400	＊200		400	200	200			100			50	1550	
センター試験	200	＊200		200	200	200							1000	
個別学力検査等									100		400	50	550	
計	200	＊200		200	200	200			100		400	50	1550	
センター試験	200	＊200		100	100	200							800	追加合格
個別学力検査等	400								100				500	
計	600	＊200		100	100	200			100				1300	
センター試験	200	200	200	100	100	200							1000	追加合格
個別学力検査等									100		500		600	
計	200	200	200	100	100	200			100		500		1600	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力 検査 等 の 程 度	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
教育学部	中学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修 5人 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) 面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修 5人 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物、 地基・地学 から1) 面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注2) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	音楽必須（基礎 実技・筆記試験） 音楽選択 （選択実技） *実技検査等実 施方法につい ては45ペー ジ参照 口頭試問を含 む面接	
学校教育 教員 養成 課程	中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注2) 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目) ※世A、日A、地理Aの科目を選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者に限る。	その他	実技検査 筆記試験 *実技検査等 実施方法につ いては46ペー ジ参照 面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	実技検査 *実技検査等 実施方法につ いては46ペー ジ参照 面接	

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の
(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣
(注3) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は、「音楽必須（基礎実技・筆記試験）」とする。
(注4) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は、「音楽選択（選択実技）」とする。

○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等															特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須 (注3)	筆記試験 音楽選択 (注4)	面接	口頭 試問	小論文	調査書	競技歴 調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				400					50					450	
計	200	*100		600	200	200			50					1350	
センター試験	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				100	200				200					500	
計	200	*100		300	400	200			200					1400	
センター試験	200	*100		100	100	200								700	追加合格
個別学力検査等							音楽 必須 250	音楽 選択 150	50			50		500	
計	200	*100		100	100	200	音楽 必須 250	音楽 選択 150	50			50		1200	
センター試験	200	*100		100	100	200								700	帰国子女 追加合格
個別学力検査等							実技 検査 300	筆記 試験 300	100					700	
計	200	*100		100	100	200	実技 検査 300	筆記 試験 300	100					1400	
センター試験	200	*100		200	100	200								800	追加合格
個別学力検査等							実技 検査 250		300			50	面接に 含む	600	
計	200	*100		200	100	200	実技 検査 250		300			50		1400	

科目を選択することは認めないことを指す。

の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

[illegible]

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	筆記試験 音楽選択	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	* 50		200	200	200							850	推 薦 私 費 追加合格
個別学力検査等				200					200				400	
計	200	* 50		400	200	200			200				1250	
センター試験	200	* 100		100	100	200							700	追加合格
個別学力検査等									200			100	300	
計	200	* 100		100	100	200			200			100	1000	
センター試験	200	100	100	50	100	300							850	推 薦 追加合格
個別学力検査等						250			200			50	500	
計	200	100	100	50	100	550			200			50	1350	
センター試験	200	50	50	200	100	200							800	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	200	50	50	200	100	200			200		100		1100	
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。														

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志 願 倍 率〕		区分 学力 検査 日程 の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科 目 名 等		教科等	科目名等	2段階 選 抜
理学部 〔4.3〕 200人 前期146 後期 41 その他13	数理科学科 40人 前期30 後期10	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2 英（リスニングを含む） (5教科7科目)		数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
		後期 3月 12日	理 外			理	(物基・物理、 化基・化学、 生基・生物 から1)	
	物質地球 科学科 65人 物理系 前期28 後期 7 その他5 地学系 前期19 後期 4 その他2	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1〔計2科目〕 ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基 化基、生基、地基から1 化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基、生基、地基から2〔計3科目〕 又は 化学、生物、地学から1〔計2科目〕 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)		数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
			理			理	(物基・物理)	
			物 理 系 外					
			地 学 系 外	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1〔計2科目〕 ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理、化学、生物、地学から2〔計2科目〕 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)		数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
			理			理	(物基・物理、 化基・化学、 地基・地学 から1)	

〔注1〕数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
〔注2〕「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科
○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	私 費 追加合格
個別学力検査等				400	200								600	
計	200	*100		600	400	200							1500	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等				600									600	
計	200	*100		800	200	200							1500	
パターン A	センター試験	200	*100		200	200	200						900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
	個別学力検査等				200	200							400	
	計	200	*100		400	400	200						1300	
パターン B	センター試験	100	*50		100	100	100						450	
	個別学力検査等				400	450							850	
	計	100	*50		500	550	100						1300	
上記のパターンA（大学入試センター試験重視）とパターンB（個別学力検査重視）のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を利用して可否判定を行います。														
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		600	600	200							1700	
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。 目を選択することは認めないことを指す。														

令和２年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力検査等 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科		科目名等	教科等	科目名等	２段階 選 抜
理学部	物質地球 科学科 ６５人	後期 ３月 １２日	物理系	国 地歴 公民 数	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ 物理 化基，生基，地基から２ [計３科目] 又は 化学，生物，地学から１ [計２科目] 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ (５教科７科目又は５教科８科目)	個別学力検査等は課さない		
	物理系 前期２８ 後期 ７ その他５			物理系 外				
	地学系 前期１９ 後期 ４ その他２		地学系	国 地歴 公民 数	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ ＊下記の①，②のいずれかから選択する。 ①物基，化基，生基，地基から２ 物理，化学，生物，地学から１ [計３科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注１) ②物理，化学，生物，地学から２ [計２科目] 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ (５教科７科目又は５教科８科目)	その他	小論文	
	海洋自然 科学科 ９５人	前期 ２月 ２５日	化学系	国 地歴 公民 数	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ (注２) [計２科目] 化学 物基，生基，地基から２ [計３科目] 又は 物理，生物，地学から１ [計２科目] 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ (５教科７科目又は５教科８科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数Ａ・ 数Ｂ)	
	化学系 前期３２ 後期１０ その他５			化学系 外		理	(化基・化学)	
	生物系 前期３７ 後期１０ その他１		生物系	国 地歴 公民 数	国 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ 現社，倫，政経，倫・政経 } から１ 数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ (注２) [計２科目] 物理，化学，生物，地学から２ 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１ (５教科７科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数Ａ・ 数Ｂ)	
				生物系 外		理	(生基・生物)	

(注１)「同一名称を付した科目」の選択は認めないとは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科
(注２) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	
個別学力検査等											200		200	
計	200	*100		400	400	200					200		1500	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等				100	300								400	
計	200	*100		300	500	200							1300	

目を選択することは認めないことを指す。
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和 2 年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 ・ 学力 検査 等 の 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科 目 名 等		教科等	科目名等	2 段階 選 抜
理学部	海洋自然科学科 9 5 人	後期 3 月 1 2 日	化学系	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B 化学 物基, 生基, 地基から 2 [計 3 科目] 又は 物理, 生物, 地学から 1 [計 2 科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から 1 (5 教科 7 科目又は 5 教科 8 科目)	個別学力検査等は課さない		
	生物系				国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から 1 (5 教科 7 科目)	その他	小論文
○ 配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。								

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等											200		200	
計	200	*100		200	200	200					200		1100	

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率		区分 学力検査等 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
医学部 〔6.3〕 172人 前期111 後期35 その他26	医学科 112人 前期70 後期25 その他17	前期 2月25日 26日	国地歴公民数	国世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2 英（リスニングを含む） （5教科7科目）	外	英（コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ）※リスニングは除く	約5倍
		後期 3月12日	理外		数	（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	
					理	（物基・物理、化基・化学、生基・生物から2）	
					その他	面接	
					その他	小論文面接	約10倍
保健学科 60人 前期41 後期10 その他9		前期 2月25日 26日	国地歴公民数	国世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理、化学、生物から2 英（リスニングを含む） （5教科7科目）	数	（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	
		後期 3月12日	理外		理	（物基・物理、化基・化学、生基・生物から1）	
					その他	面接	
					その他	小論文面接	

○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等				200	200	200			200				800	
計	200	*100		400	400	400			200				1700	
センター試験	200	*100		200	200	300							1000	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	200	*100		200	200	300			200		100		1300	
センター試験	300	*100		200	200	300							1100	推 薦 追加合格
個別学力検査等				100	200				100				400	
計	300	*100		300	400	300			100				1500	
センター試験	300	*100		200	200	300							1100	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	300	*100		200	200	300			200		100		1400	

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志 願 倍 率〕		区分 ・ 学力 検査 等 の 程 の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科 目 名 等	教科等	科目名等	2 段階 選 抜
工学部 〔 3.9 〕 3 5 0 人 前期206 後期 40 その他104	工学科 3 5 0 人 前期206 後期 40 その他104	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基，生基，地基から2 〔計3科目〕 又は 化学，生物，地学から1 〔計2科目〕 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から1 （5教科7科目又は5教科8科目）	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (物基・物理)	
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基，生基，地基から2 〔計3科目〕 又は 化学，生物，地学から1 〔計2科目〕 英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から1 （3教科5科目又は3教科6科目）	個別学力検査等は課さない		
○ 配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表す。							

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		300	200	200							1000	
個別学力検査等				300	200							150	650	
計	200	*100		600	400	200						150	1650	
センター試験				400	400	200							1000	ＡＯ入 試 推 薦 社 会 人 費 私 追加合格
個別学力検査等												100	100	
計				400	400	200						100	1100	

令和2年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕		区分 学力 検査 等 程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
農学部 〔4.8〕 140人 前期 87 後期 21 その他32	亜熱帯地 域農学科 35人 前期22 後期 5 その他8	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2〔計2科目〕 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物、 地基・地学 から1)	
		後期	外		個別学力検査等は課さない		
	亜熱帯農 林環境科 35人 前期21 後期 7 その他7	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2〔計2科目〕 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物、 地基・地学 から1)	
		後期	外		個別学力検査等は課さない		
地域農業 工学科 25人 前期17 後期 3 その他5		前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2〔計2科目〕 英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物、 地基・地学 から1)	
		後期	外		個別学力検査等は課さない		

(注)「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目
○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	＊100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	＊100		400	400	200							1300	
センター試験	200	＊100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	＊100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	＊100		400	400	200							1300	
センター試験	200	＊100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	＊100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	＊100		400	400	200							1300	
センター試験	200	＊100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 私 費 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														

を選択することは認めないことを指す。

を選択することは認めないことを指す。

令和2年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力 検査 日程 の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
農学部	亜熱帯生物資源科学科 35人 前期22 後期6 その他7	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	国 世B、日B、地理B } から1 現社、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ＊下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物 から1)	
		後期	外		個別学力検査等は課さない		
	亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース 10人 前期8 その他2	前期 2月 25日			数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理、 化基・化学、 生基・生物 から1)	
(注)「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目 ○ 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表す。							

※次ページと両面見開き

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等														特別の選 抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	＊100		200	200	200							900	
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	＊100		400	400	200							1300	
センター試験	200	＊100		200	400	200							1100	
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	＊100		200	200	200							900	
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	＊100		400	400	200							1300	
を選択することは認めないことを指す。														

19. 実技検査等実施方法（教育学部）

（１）学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修（前期日程）

A 音楽必須（基礎実技・筆記試験）

（ア）聴音：８～１２小節程度の単旋律書き取り

（イ）音楽理論の筆記試験

（ウ）ピアノによる弾き歌い

○次の楽曲のなかから任意の１曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず１番と２番など、最低２コーラスは行うものとする。

「花の街」 江間章子 作詞 團伊玖磨 作曲

「赤とんぼ」 三木露風 作詞 山田耕筰 作曲

「エーデルワイス」 O. ハーマスライン ２世 作詞 R. ロジャース 作曲

（原語・邦語のどちらでもよい）

注１：音楽理論については、基礎的な楽典、用語、音楽史などの内容を課す。

２：ピアノによる弾き歌いについては、暗譜の必要はない。伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意すること。移調可とする。

３：試験前の実技の練習は、可能。

B 音楽選択（選択実技）

下記の（ア）～（ウ）より１つ選択すること。

（ア）ピアノ

○F. J. ハイドン、W. A. モーツァルト、L. V. ベートーヴェンのソナタより第１楽章を演奏すること。

注１：選択実技検査申請書に、曲名、作曲者名を明記のこと。

２：試験前の実技の練習は、可能。

（イ）声楽

○任意の声楽曲１曲を歌うこと。

注１：選択実技検査申請書に、曲名、作曲者名を明記のこと。

２：伴奏の必要な者は、出願書類提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する。）

３：試験前の実技の練習は、可能。

（ウ）管弦打楽器

○任意の楽曲１曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、１つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注１：選択実技検査申請書に曲名、作曲者名及び楽器名を明記のこと。

２：伴奏の必要な者は、出願書類提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する）。

３：楽器は各自持参すること。

４：試験前の実技の練習は、可能。

C 口頭試問を含む面接

(2) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修 (前期日程)

A 実技検査	発想力及び造形力を評価する。【解答時間 4 時間】
B 筆記試験	鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価する。【解答時間 2 時間】
C 面接	受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価する。

※実技検査に必要な用具・材料は大学で準備する。

(3) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修 (前期日程)

A 実技検査 (「新体力テスト」を実施)

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン
⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ハンドボール投げ

- 注1：上記のテスト8項目を体育館で全員が受験すること。
2：実技検査の際には，実技の服装及び体育館用運動靴を準備すること。
3：受験番号を記入したゼッケン(15cm×25cm)を各自で準備し，胸部につけること。
4：更衣室あり。

B 面接

学校教員としての資質や適性，運動・スポーツの専門家となるための資質や適性，専門種目についての理解と競技実績・成績(所定の「競技歴調査書」に記載)などを総合的に評価する。

(4) 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻 (後期日程)

実技検査(面接を含む)

当日与えられた課題についての理解力・思考力・表現力を以下の3点からみる。

- (ア) 作文
(イ) 身体，言葉，音楽，造形による創造的な表現
(ウ) 面接(課題についての口述試験も含む)

- 注1：実技検査は大学が当日準備する用具(原稿用紙，画材，楽器など)を用いて行う。
2：運動着が必要な者は各自で準備する。
3：(イ)の創造的な表現については，一人3分以内でプレゼンテーションを行う。

20. 個別学力検査等の試験日時及び試験場

(1) 前期日程

① 試験日時

志願者は試験開始時刻の30分前までに当該学部の実験場前（教育学部は玄関前、ただし保健体育専修においては第一体育館玄関前）に集まってください。

面接（実技含む）においては集合時刻までに当該学部の実験場前（教育学部は玄関前、ただし保健体育専修においては第一体育館玄関前）に集まってください。

※筆記試験の後に面接のある場合、試験監督者等の指示に従ってください。

【農学部志願者への注意】

農学部棟改修工事のため、農学部志願者の試験場は沖縄国際大学3号館となります。（50ページ参照。）集合時刻までに沖縄国際大学3号館玄関前に集合してください。

学部	学科・課程等			2月25日（火）		2月26日（水）	
				科目等	時刻	科目等	時刻
人文社会学部	国際法政学科			英語	9:30～11:10	----	----
	人間社会学科			小論文	13:00～15:30	----	----
	琉球アジア文化学科			小論文 面接 ^(注)	9:30～11:30 13:00～18:00	面接 ^(注)	9:00～18:00
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	英語	9:30～11:10	----	----
			(論理的思考系)	小論文	13:00～15:00	----	----
			(数学的思考系)	数学（乙）	13:00～14:00	----	----
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	英語	9:30～11:10	----	----
			(論理的思考系)	小論文	13:00～15:00	----	----

(注): 人文社会学部琉球アジア文化学科は、面接の前にアンケートを実施します。なお、このアンケートは採点の対象としません。

「面接」の集合時間は2月13日（木）までに、出願時に登録したメールアドレス宛に通知します。大学からのメール(hbgakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。

なお、2月14日（金）までにメールが届かない場合は、人文社会学部学務係（098-895-9056）へ連絡してください。

学部	学科・課程等			2月25日（火）		2月26日（水）	
				科目等	時刻	科目等	時刻
教育学部		小学校教育コース	学校教育専攻	小論文面接 (注1)	9:00～11:30 13:00～18:00	面接 (注1)	9:00～18:00
			教科教育専攻	国語 数学(乙)面接	9:30～11:10 13:00～14:00 14:30～18:00 (集合時刻は14:15)	面接 (注1)	9:00～18:00
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	国語面接	9:30～11:10 13:00～17:00 (集合時刻は12:30)	——	——
			社会科教育専修	小論文面接	10:00～12:00 13:00～18:00 (集合時刻は12:30)	——	——
			数学教育専修	数学(甲)面接	13:00～15:00 15:30～18:00 (集合時刻は15:00)	——	——
			理科教育専修	面接 数学(乙) 理科	9:00～12:00 (集合時刻は8:30) 13:00～14:00 15:50～17:30	——	——
			音楽教育専修	音楽選択 (選択実技)	9:00～18:00 (集合時刻は8:30)	音楽必須 (基礎実技・筆記試験) 面接	9:00～9:20 (聴音) (集合時刻は8:30) 9:30～10:30 (筆記試験) 11:00～ (弾き歌い) 音楽必須終了後
			美術教育専修	実技検査	9:00～13:30 (集合時刻は8:30)	筆記試験 面接	9:00～11:30 13:30～18:00 (集合時刻は13:00)
			保健体育専修	実技検査	9:00～17:00 (集合時刻は8:30)	面接 (注1)	9:00～17:30
			技術教育専修	数学(乙)面接	13:00～14:00 14:30～18:00 (集合時刻は14:00)	——	——
			生活科学教育専修	面接	9:00～17:00 (集合時刻は8:30)	——	——
			英語教育専修	英語 面接(注2)	9:30～11:10 13:00～17:00 (集合時刻は12:30)	——	——
	教育特別支援コース	特別支援教育専攻	小論文面接	10:00～12:00 13:00～18:00 (集合時刻は12:30)	——	——	

(注1) : 「面接」の集合時刻は2月13日(木)までに、出願時に登録したメールアドレス宛に通知します。大学からのメール (kigakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp) を確実に受信できるよう設定を確認してください。

なお、2月14日(金)までにメールが届かない場合は、教育学部学務係(098-895-8317)に連絡してください。

(注2) : 教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育専修においては、英語で行います。

学部	学科・課程等	2月25日(火)		2月26日(水)	
		科目等	時刻	科目等	時刻
理学部	数 理 科 学 科	数 学 (甲)	13:00~15:00	—	—
	物質地球科学科 (物理系・地学系)	理 科	15:50~17:30	—	—
医学部	海 洋 自 然 科 学 科 (化学系・生物系)	英 語 数 学 (甲) 理 科	9:30~11:10 13:00~15:00 15:50~17:30	面 接	9:00~18:00 (集合時刻は8:30)
	保 健 学 科	数 学 (甲) 理 科	13:00~15:00 15:50~17:30	面 接	9:00~18:00 (集合時刻は8:30)
工学部	工 学 科	数 学 (甲) 理 科	13:00~15:00 15:50~17:30	—	—
農学部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)	数 学 (乙) 理 科	13:00~14:00 15:50~17:30	—	—

② 試験場

試験場や試験室等の確認については、令和2年2月21日(金)の午後3時以降に、各試験場の建物入り口に受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図(実技検査、面接の集合場所を含む)を掲示しますので、下見を行ってください。下見は午後3時から午後6時頃までに行ってください。なお、2月22日(土)、23日(日)、24日(月)は、各試験場の建物内への立入りはできませんが、建物入り口から、受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図(実技検査、面接の集合場所を含む)を確認することは可能です。

ただし、農学部試験場(沖縄国際大学3号館)については、試験場下見を令和2年2月24日(月)午後3時から午後6時までに行ってください。

各試験場の場所については、「試験場配置図」(農学部を除く)

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-venuemap/>)を参照してください。

なお、農学部の試験場は沖縄国際大学3号館となりますのでご注意ください。(50ページ参照)

沖縄国際大学へのアクセスマップ (<http://www.okiu.ac.jp/access>)

沖縄国際大学キャンパスマップ (https://www.okiu.ac.jp/campus_life/campusmap)

試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので、早めに試験場に向かってください。

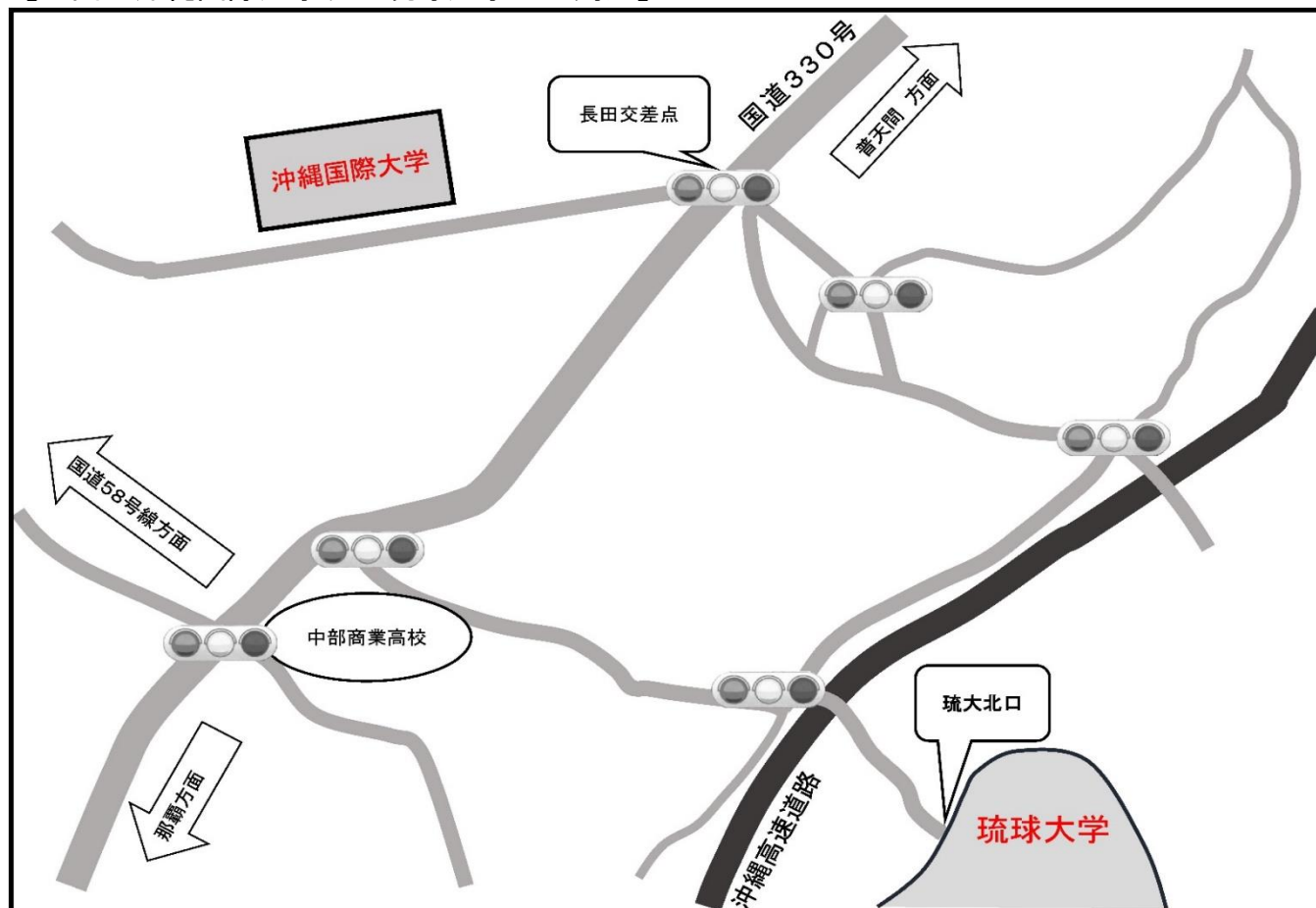
学 部	試 験 場
人 文 社 会 学 部	文系講義棟（旧法文学部・観光産業科学部棟）
国 際 地 域 創 造 学 部	共通教育棟
教 育 学 部	教育学部棟，附属中学校， 文系総合研究棟・教育実践棟 本学第一体育館（保健体育専修）
理 学 部	理学部棟（理系複合棟を含む）
医 学 部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟，医学部保健学科棟，がじゅまる会館 おきなわクリニカルシミュレーションセンター
工 学 部	工学部棟（1号館～4号館）
農 学 部	<u>沖縄国際大学3号館</u>

・農学部志願者の試験場について

令和2年度一般入試については，農学部志願者の試験場は沖縄国際大学3号館となります。

なお，下記の地図のように琉球大学農学部と沖縄国際大学は約2.2km離れており，車の移動で30分程度要しますので，試験場を間違えないように注意してください。また，バス等の公共交通機関を利用する方は，琉球大学と路線が異なりますので，事前に沖縄国際大学のアクセスマップ
(<https://www.okiu.ac.jp/access>) をご確認ください。

【地図：沖縄国際大学及び琉球大学北口周辺】



(2) 後期日程

① 試験日時

志願者は試験開始時刻の30分前までに当該学部の試験場前に集まってください。

面接（口頭試問，実技含む）においては集合時刻までに当該学部の試験場前に集まってください。

※筆記試験の後に面接のある場合，試験監督者等の指示に従ってください。

学部	学科・課程等			3月12日（木）		3月13日（金）	
				科目等	時 刻	科目等	時 刻
人文社会学部	国 際 法 政 学 科			小 論 文	10：00～12：00	――	――
	人 間 社 会 学 科			面 接	9：00～17：00 （集合時刻は9：00）		
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科			口 頭 試 問	9：00～18：00 （集合時刻は9：00）	――	――
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	（国際的思考系）	小 論 文 （英語資料読解）	10：00～12：00	――	――
			（論理的思考系）	小 論 文	10：00～12：00		
	夜間主コース	国際地域創造学科	（国際的思考系）	小 論 文 （英語資料読解）	10：00～12：00	――	――
			（論理的思考系）	小 論 文	10：00～12：00	――	――
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学 校 教 育 専 攻	^{（注1）} 実 技 検 査 （面接を含む）	9：00～18：30 （集合時刻は8：30）	^{（注1）} 実 技 検 査 （面接を含む）	9：00～12：00 （集合時刻は8：30）
			教 科 教 育 専 攻	小 面 論 文 接	10：00～11：30 13：00～18：00 （集合時刻は12：30）	――	――
理学部	数 理 科 学 科			数 学	10：00～12：00	――	――
	物質地球科学科（地学系）			小 論 文	10：00～12：00		
	海洋自然科学科（生物系）			小 論 文	10：00～12：00		
医学部	医 学 科			小 面 論 文 接	10：00～12：00 13：00～18：00 （集合時刻は12：30）	――	――
	保 健 学 科			小 面 論 文 接	10：00～12：00 13：00～18：00 （集合時刻は12：30）		

(注1)：教育学部の学校教育専攻は，受験者数により，試験日程を3月12日（木）のみとする場合があります。

3月13日（金）の試験実施の有無については，試験初日の3月12日（木）試験開始前に受験者へ告知します。

※理学部（物質地球科学科物理系，海洋自然科学科化学系），工学部工学科，農学部全学科では，後期日程で個別学力検査等は課しません。

② 試験場

試験場や試験室等の確認については、令和2年3月11日（水）の午後3時以降に、各試験場の建物入り口に受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図（実技検査、面接の集合場所を含む）を掲示しますので、下見を行ってください。下見は午後3時から午後6時頃までに行ってください。

各試験場の場所については、「試験場配置図」

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2general-venuemap/>) を参照してください。なお、試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので、早めに試験場に向かってください。

学 部	試 験 場
人 文 社 会 学 部	文系講義棟（旧法文学部・観光産業科学部棟）
国 際 地 域 創 造 学 部	共通教育棟
教 育 学 部	教育学部棟 文系総合研究棟 教育実践棟
理 学 部	理学部棟（理系複合棟を含む）
医 学 部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟 医学部保健学科棟 がじゅまる会館 おきなわクリニカルシミュレーションセンター

21. 受験に関する注意

- (1) 個別学力検査等の日程・試験場は、学部・学科等により異なるので、注意してください。
- (2) 試験場は、学部ごとに散在していますので、事前に下見をしておくことをお勧めします。なお、各試験場の試験室配置図（実技検査、面接集合場所を含む）及び注意事項は前期日程は令和2年2月21日（金）（ただし、農学部試験場は令和2年2月24日（月）、沖縄国際大学3号館）、後期日程は、令和2年3月11日（水）のそれぞれ午後3時以降に掲示します。下見は午後3時から午後6時頃までに行ってください。
※前期日程前日の2月22日（土）、23日（日）、24日（月）については、各試験場の建物への立入りはできませんが（農学部試験場を除く）、建物入り口から、受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図（実技検査、面接の集合場所を含む）を確認することは可能です。
- (3) 試験当日は、試験開始時刻の30分前までに、面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験室へ入室し、座席に着いたとき、琉球大学受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。
- (5) 試験開始時刻（面接（口頭試問、実技を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (6) 試験室には、必ず本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を携帯し、監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。万一忘れた場合は、当該試験場に設置されている試験場本部に申し出てください。
なお、大学入試センター試験の受験票は、入学手続の際に必要ですので、大切に保管してください。
- (7) 試験室の机上には、本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票、時計（時計機能だけのもの）及び筆記用具「鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）」のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。
- (8) 問題冊子は、試験開始の合図があるまでは絶対に開かないでください。
- (9) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (10) 理科の選択科目（個別学力検査）は、必ずインターネット出願時に選択した科目を受験しなければなりません。届け出た科目以外の科目を受験した場合は、無効となります。
- (11) 試験時間中に不正行為をしたり、あるいは解答用紙を試験室外に持ち出した場合は、無効となります。
- (12) 試験時間中は、試験室からの退室は認めません。ただし、用便、身体の不調又は質問等がある場合は、挙手をして、監督者の指示に従ってください。
- (13) 解答用紙は、解答の如何にかかわらず、必ず提出してください。「数学」以外の問題冊子は持ち帰ってください。
- (14) 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の音の出る機器は必ず試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。
- (15) 耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがあるので、使用を認めません。
- (16) 試験当日は、原則として各試験場内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止します。
- (17) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (18) 咳、くしゃみ、鼻水等の症状がある場合には、マスクを着用してください。
- (19) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。

- ① 出願確認票，受験票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（インターネット出願登録時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④ 試験時間中に，問題冊子を試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 「解答はじめ」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦ 試験時間中（面接（口頭試問，実技を含む）時間及び面接（口頭試問，実技を含む）待機時間を含む）に，携帯電話やスマートフォン，腕時計型端末，電子辞書，ＩＣレコーダー等の電子機器類を使用すること。（ただし，緊急の連絡が必要な場合は，試験監督者等に申し出ること）
 - ⑧ 試験時間中に，使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (20) (19) 以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，(19) と同様です。
- ① 試験時間中に，携帯電話等の電子機器類や使用を認められていない定規，コンパス，電卓等の補助具をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他，試験の公平性を損なう行為をすること。

22. 合格発表

前期日程・後期日程の合格者の発表は，次のとおり合格者の受験番号を掲示（前期日程：琉球大学千原キャンパス内「文系総合研究棟前駐車場」，後期日程：各学部掲示板）するとともに，本人あてに合格通知書と入学手続書類を郵送します。また，本学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [入試情報]）にも掲載します。不合格者への通知は行いません。

なお，電話による可否の問い合わせには一切応じません。

前期日程（全学部）	令和２年３月 ６日（金）午後３時
後期日程（全学部）	令和２年３月 20日（金）午後３時

23. 追加合格

令和２年３月 27日（金）の入学手続終了日において募集人員に欠員が生じた場合は，追加合格候補者に対して令和２年３月 28日（土）以降にインターネット出願登録の際に記入された「連絡先」へ電話により照会することがあります。入学の意志について，本人（保護者等の代理は認められません）に確認しますので，本人の所在を明らかにし，連絡が取れるようにしてください。

24. 入学手続（前期日程・後期日程）

※詳細は、合格者に送付する「入学手続案内」でご確認ください。

（１）入学手続期間等

① 前期日程

令和２年３月１４日（土）～１５日（日）午前９時～午後５時（必着）

② 後期日程

令和２年３月２６日（木）～２７日（金）午前９時～午後５時（必着）

※できるだけ２６日（木）に手続するよう、お願いします。

入学手続書類は、前期日程は令和２年３月１５日（日）、後期日程は令和２年３月２７日（金）のそれぞれ午後５時までに必着するよう、直接持参あるいは、書留郵便で提出してください。同日時までに入入学手続を完了しなかった者は、入学の意志がなく入学を辞退したものとして取り扱います。

- ③ 郵送の場合は**必ず書留郵便**で、発送してください。なお、郵便の事情等を考慮の上、十分な時間的余裕をもって早めに発送してください。入学手続期間より早めに到着するように発送してもかまいません。ただし、書類の確認は手続期間しか行いません。また、郵便局において手続期限までに必着することを確認してください。

（２）入学手続場所

合格した学部で行います。

なお、人文社会学部及び国際地域創造学部は文系総合研究棟で行います。

（３）提出書類（下記「本学所定の用紙」は「入学手続案内」に添付します）

- ① 誓約書（本学所定の用紙）
- ② 保護者等連絡票（本学所定の用紙）
- ③ 高等学校卒業証明書（高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、当該合格証明書）
- ④ マイナンバーの記載のない「住民票の写し（記載事項の省略の無いもの）」（外国籍の者のみ）
- ⑤ 入学料納付証明書（本学所定の用紙）
- ⑥ 大学入試センター試験受験票
- ⑦ 写真（縦４ｃｍ×横３ｃｍ）１枚（上半身・脱帽・正面向きで、出願前３ヵ月以内に撮影したもの）

（４）入学料・授業料について

- ① 入学料は、銀行振込により納付してください。授業料は、口座振替となります。

事 項	昼 間 主 コ ー ス	夜 間 主 コ ー ス
入学料(予定額)	282,000円	141,000円
授 業 料 (予 定 額)	(前期分) 267,900円	(前期分) 133,950円
	(年 額) 535,800円	(年 額) 267,900円

- ② 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ③ 授業料の納付については、本人の申し出により、前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付することができます。
- ④ 「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、学生部学生支援課学生援護係にお問い合わせいただくか、合格者に送付する「入学手続案内」の際にお知らせします。

（５）入学手続にあたっての注意

- ① 「前期日程」の合格者が入学手続を完了した場合は、「後期日程」の合格者となりません。
- ② 入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできません。

25. 個人情報の利用等について

(1) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、予めご了承ください。

- ① 入学者選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。
- ② 入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納付金関係業務（授業料徴収等）で利用します。
- ③ 入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
- ④ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
- ⑤ 本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各学部・学科同窓会及び各学部・学科後援会に、入学手続者の氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

(2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に、必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合、受託業者に対し、当該個人情報について、その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し、又はその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。

(3) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は出身高等学校等に通知する場合があります。

(4) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

26. 入試情報開示に関する事項

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 個別学力検査（教科・科目）

外国語	○読解力，記述力，表現力等を評価する。
国語	○小説・評論等の現代文分野では，基本的な語彙力・漢字力をみるほか，設問において問われていることを正確に把握し，問題文の内容を踏まえて的確に記述・表現する力を求める。 ○古文分野では，古典語彙や解釈，文法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求め，なおかつそれについて論述する能力をみる。 ○漢文分野では，書き下しや解釈，句法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求める。
数学	○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計する。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 ○記述式の問題の場合，途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えない。
物理	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価する。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
化学	○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
生物	○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
地学	○設問の趣旨をよく理解しているか。また，これに基づいて自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価する。

② 教科科目以外の科目

1) 人文社会学部

ア) 国際法政学科

小論文 (後期日程)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
---------------	---

イ) 人間社会学科

小論文 (前期日程)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，構成力等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
面接 (後期日程)	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。

ウ) 琉球アジア文化学科

小論文 (前期日程)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
面接 (前期日程)	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
調査書 (前期日程)	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を評価する。
口頭試問 (後期日程)	○論理的思考力，積極性，表現力等を評価する。

2) 国際地域創造学部

小論文 (前期日程は論理的思考系のみ)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
------------------------	--

3) 教育学部

学校教育教員養成課程

小学校教育コース	学校教育専攻	小論文 (前期日程)	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価する。	
		面接 (前期日程)	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○自分の意見をまとめ，適切に表現する力をみる。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し，議論する力をみる。	
		調査書 (前期日程)	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。（前期日程のみ）	
		実技検査 (後期日程)	○課題についての理解力・思考力・表現力を評価する。 ○課題に対応した創造的な表現力を評価する。 ○表現についての説明の説得性を評価する。	
	教科教育専攻	小論文 (後期日程)	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価する。	
		面接	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみる。 ○個人面接または集団面接により，思考力・判断力・表現力を評価する。	
		調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。	
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	面接
社会科教育専修			小論文	○資料等の読解力・分析力，および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価する。
			面接	○目的意識，学習意欲，適性，表現力等を評価する。
数学教育専修			面接	○数学科教師への意欲・関心・適性をみる。
理科教育専修			面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。

中学校教育コース	教科教育専攻	音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみる。
			筆記試験	○基礎的な楽典，用語，音楽史などの知識・理解をみる。
			口頭試問を含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみる。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみる。 ○面接態度，表現力等をみる。 ○基礎的な理論，楽典，用語，音楽史の知識・理解をみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
		美術教育専修	実技検査	○発想力及び造形力を評価する。
			筆記試験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価する。
			面接	○受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価する。
		保健体育専修	実技検査	○「新体力テスト」を実施し，体力・運動能力を評価する。
			面接	○学校教員としての資質や適性を評価する。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価する。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価する。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
		技術教育専修	面接	○技術科教師への意欲をみる。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみる。
		生活科学教育専修	面接	○家庭科教師への意欲をみる。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」及び特記事項を評点化する。
		英語教育専修	面接	○筆記試験では測れない英語のコミュニケーション能力をみる。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	面接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価する。
			調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させる。
			小論文	○特別支援教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価する。

4) 理学部

ア) 物質地球科学科

地 学 系	小 論 文 (後期日程)	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価する。
-------	-----------------	---

イ) 海洋自然科学科

生 物 系	小 論 文 (後期日程)	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力などを総合的に評価する。
-------	-----------------	-------------------------------------

5) 医学部

ア) 医学科

小 論 文 (後期日程)	○思考力，独創性，発想力，表現力等を総合的に評価する。
面 接	○適性，意欲，表現力等を総合的に評価する。
調 査 書	○面接等の参考にする。
志 願 理 由 書	○面接等の参考にする。

イ) 保健学科

小 論 文 (後期日程)	○課題に対する理解力及び文章表現力（論理性，独創性，表現力等）を総合的に評価する。
面 接	○動機，意欲，適性，表現力等を総合的に評価する。
調 査 書	○面接等の参考にする。
志 願 理 由 書	○面接等の参考にする。

6) 工学部

調 査 書	○評定平均値を点数化する。
-------	---------------

(2) 合否判定基準

① 全学部の基本的な基準

- 大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の成績の総合得点（本募集要項に記載された配点に基づく総合得点）により，上位から順次合格者とする。
- 大学入試センター試験及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査，小論文，面接等を含む）でも欠席又は0点の者については，不合格とする。

② 学部ごとの基準

1) 人文社会学部（学部共通）

- 総合得点が同点の場合は，次の順序に従って順位付けを行う。
 1. 大学入試センター試験の得点上位者
 2. 上記が同点の場合は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，全員合格とする。

2) 国際地域創造学部

- 同点者の順位決定は，大学入試センター試験の外国語の得点で判定する。

3) 教育学部（学部共通）

- 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とする。

4) 理学部

ア) 数理科学科

- 同点者の順位決定は，個別学力検査の数学の得点，次に大学入試センター試験の数学の得点で判定する。

イ) 物質地球科学科

物理系	前期日程	○同点者の順位決定は，換算前の個別学力検査の物理の得点，次に換算前の大学入試センター試験の理科の得点で判定する。
	後期日程	○同点者の順位決定は，大学入試センター試験の理科の得点で判定する。
地学系	前期日程	○同点者の順位決定は，大学入試センター試験及び個別学力検査の理科の合計点で判定する。
	後期日程	○同点者の順位決定は，大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。

ウ) 海洋自然科学科

化学系	前期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
	後期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
生物系	前期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
	後期日程	○大学入試センター試験の成績、小論文を総合的に判定する。 ○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。

5) 医学部

ア) 医学科

○合格ラインに同点者がいる場合には、次の順序に従って順位を付して合格者とする。

- ①個別学力検査等の高得点者
- ②大学入試センター試験の外国語の高得点者
- ③大学入試センター試験の数学の高得点者
- ④大学入試センター試験の理科の高得点者
- ⑤面接の高得点者

イ) 保健学科

○合格ライン上に同点者がいる場合は、次の順序に従って合格者を決める。

- ①個別学力検査等の高得点者
- ②大学入試センター試験の英語の高得点者

6) 工学部

○総合得点が同点の場合は、大学入試センター試験の得点に基づき順位付けを行う。その結果、同点の場合は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とする。

7) 農学部

ア) 前期日程 亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科，
亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）

○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。

1. 大学入試センター試験の得点上位者
2. 調査書（全体の評定平均値）の得点上位者

イ) 後期日程 亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科，
亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。

1. 大学入試センター試験の理科の得点上位者
2. 調査書（全体の評定平均値）の得点上位者

(3) 入学試験問題等の公表

本学個別学力検査等の試験問題については、当該試験終了後、報道機関に提供します。また、著作権法に抵触しない試験問題等については、令和2年5月頃に本学ホームページ

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [入試情報]) に掲載します。

(4) 合格者の成績（合格者の最高点・最低点・平均点）

合格者の成績（大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の最高点、最低点、平均点）を令和2年5月に本学ホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [入試情報]) に掲載します。

ただし、合格者が少人数の学科等については、公表しない場合があります。

(5) 試験成績開示

令和2年度一般入試の個人成績を、合格者・不合格者に限らず、インターネット出願システムで試験成績開示を希望した方に開示します。申請方法、開示内容及び開示方法は以下のとおりとします。

① 申請方法

インターネット出願システムで成績開示を希望した方に試験成績を開示します。申請者に手数料及び郵送料（660円）を負担いただきます。なお、出願時に申請できなかった方は「保有個人情報開示請求」により成績開示請求することができます。

② 開示内容

1) 当該年度のみ開示します。

2) 得点は、各学部学科等の大学入試センター試験及び個別学力検査等を、順位を含め個別に開示します。

3) 同点者の順位は、各学部の合否判定基準（61～62ページ参照）によります。

③ 開示方法

インターネット出願システムで登録した住所宛に「個人成績通知書」を郵送します。

なお、「個人成績通知書」は令和2年5月29日（金）以降に順次発行しますが、1か月程度日数を要する場合があります。

(6) 調査書開示

本学では、令和2年度入学者選抜に係る一般入試受験者の調査書を、受験者本人に限って開示します。申請者、申請期間、申請方法及び開示内容は以下のとおりとします。

① 申請者

不合格者本人の申請に限って試験成績を開示します。（代理人による申請は認めません）

② 申請期間

令和2年5月11日（月）～6月19日（金）必着（土曜日、日曜日を除く）

③ 申請方法

「琉球大学受験票」を学生部入試課窓口へ持参の上、所定の申請書により申請してください。

④ 開示内容

1) 当該年度のみ開示します。

2) 「指導上の参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄を除きます。

⑤ 開示方法

学生部入試課窓口で後日閲覧することになります。

出 願 書 類 等 一 覧

高等学校等から取り寄せる書類	
1	調査書
2	住民票の写し（外国籍の者のみ）
インターネット出願サイトから印刷する書類	
3	出願確認票
4	宛名ラベル
本学様式指定の書類	
5	選択実技申請書（教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修）
6	競技歴調査書（教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修のみ）
7	志願理由書（医学部（医学科、保健学科）のみ）

出 願 書 類 等 の 記 入 上 の 注 意

記入に当たっては、本募集要項を熟読し、以下の事項に注意して記入してください。

1. 記入は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。
2. 通称・略字等は使用せず、漢字は楷書で、数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。
3. 「※印の欄」（受験番号欄、出欠欄等）は記入しないでください。
4. 記入不備がある場合は、受理しないので注意してください。
5. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後の記載内容の変更は認めません。
6. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後に、本人及び保護者の連絡先、住所を変更した場合は、直ちに出席した各学部の学務係（表紙裏面「問い合わせ先等一覧」参照）に連絡してください。